

---

# フラ × ベルの日常

エダマメ屋

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

フラ×ベルの日常

### 【コード】

N5952I

### 【作者名】

エダマメ屋

### 【あらすじ】

マーモンがいなくなってから、数ヶ月。ベルの前に、フランという少年が現れる。

なーんちゃって、ただの夢小説だよーん。

マーモンとフランの間でゆれるベル的な設定です。気長にみてやってください。

## プロローグ part 1

「なんにもする気ねえー。」

「マーモンがいなくなっただから何ヶ月が過ぎただろうか？」

「どうせ、いつもの幻覚だろ・・・早く帰ってこいよ。」

「ベルフェゴールは今でも、マーモンの帰りを待っている。」

「・・・ピンポン」

「来訪を告げる鐘が鳴った。」

「!？」

「まさか・・・！」

「ベルはそんな思いを胸に、思い切り扉を開けた。」

「こんにちわーって、うわっ。」

「謎の少年は、いきなり開けはなれたドアに驚きしりもちをつく。」

「はっ？」

「ベルはまったく予想外の展開にとまどってしまっ。」

「いきなりなんですかー？」

「誰、おまえ？」

「え、ミーですか？」

「（おまえ以外に誰いるんだよ！）」

「と、心の中でベルは毒づく。」

「「ミーはフランといいますー。」」

「「マーモンじゃなくて・・・？」」

「「ああ、ミーはマーモンって人の代わりに来たんですー。」」

「（冗談きついで・・・）」

「「あらー、もしかしてフランちゃん？」」

「そんな、沈黙を破るようにしてルツスーリアが現れた。」

「「おい、オカマこんなこと聞いてねえーぞ。」」

「「だって、しょうがないじゃない。ベルちゃん、部屋にこもりっぱなしだったんだもの。」」

「それに、オレはこいつがマーモンの代わりだなんて認めねえからな。」

「そんなこと、いわれてもねえ。ボスが決めたことだし……。」

「う、おおおい、なにゴチャゴチャいってやがるカスども。」

「またもや、新たな人物スクアーロが割り入ってきた。」

「全員、会議室に来い！今すぐにだあ、来ない奴は三枚におろすぞ。」

「

そういい残して、スクアーロは足早に去っていった。

「だそうよ。私はレビイとボスと呼んでくるから、会議室にフランちゃんを連れて行ってあげてね。」

「何でオレが連れていかねーといけねーんだよ。」

「いいの、スクアーロはともかくボスの怒りを買っても？」

「いや、それはパスかも。」

「だったら連れて行きなさい。」

「はああー。やってらんねーぜ。」

「じゃあ、あとヨロシクね。」

ルッスーリアはベルの肩をポンっとたたくと、そのままスキップをしながら姿を消した。

## プロローグ part 2

どうしてだろう？

黙って前を歩く金髪少年から目が離せない。

そんなフランをよそに、ベルと呼ばれた少年は大きな扉の前で立ち止まった。

きつとここが、会議室なのだろう。

ベルが扉を開け放つ。

そこにはなぜか、さっきのルツスーリアと呼ばれたオカマしかいなかった。

「ごめんなさいねー。」

「どういことだよ？」

「ボスは来てくれなくて、スクは急な任務が入って、レヴィはどこかにいってるみたいなのよ。」

「だ・か・ら、会議これでおしまいね。」

おしまいといっても、まだ始まってもない。

「あ、そうだ。これベルちゃんにあげる。喜ぶと思ってフランちゃんと仲良くするのよー。」

ルツスはベルにある物を渡すと、手を振りながら帰ってしまった。

「なんですかー？この悪趣味なカエルは？」

「そういうことか・・・。」

ベルは初めてフランに満面の笑みを見せつけた。

「よしお前これ、かぶれ」

「え、いやですよー。」

「先輩命令だから。」

なかば、強引にカエルのかぶりものをかぶされたフラン。

「マーモンの代わりだ。」

もう、わけがわからなくなった。

「お前、これからオレの奴隷だから。」

「いきなり、意味わかんないです！。」

「どうして、そうなるんですか！。」

「そんなの簡単じゃん、」

「だってオレ、王子だもん」

これがベルとフランの物語の始まり。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5952i/>

---

フラ×ベルの日常

2010年10月10日16時36分発行